

## 民生常任委員会行政視察（概要）

### 1 視察日

平成30年5月9日（水）～10日（木）

### 2 視察項目（視察都市）

- ・ 子ども家庭支援センターについて（東京都台東区）
- ・ 健康維持・増進の取り組みについて（千葉県市川市）

### 3 参加委員

委員長：朝田 充、副委員長：萩原 佳

委員：青木 順子、安孫子浩子、河本 光宏、上田 嘉夫、辰見 登

### 4 調査概要

台東区では、安心して子どもを産み、育て、子どもの成長を地域全体で見守ることができる子育ての拠点として3ヶ所の子ども家庭支援センターを整備されている。中でも、日本堤子ども家庭支援センターは、0～18歳未満の子どもとその保護者に対し、子育てに関する総合相談及び情報提供を行うなど、台東区の身近な相談機関となっている。

市川市では、今後の高齢化の進行を見据え、子どもから高齢者まで、全ての市民が健やかで、心豊かに生活できる「誰もが健康なまち」づくりを基本理念として、市川市健康増進計画「健康いちかわ21」を策定されている。これは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく、自立して生活できる期間である健康寿命を延ばし、市民一人一人の健康格差を縮小するとともに、市民の健康増進を総合的に推進しようというものである。また、市民の健康意識の向上を目的として、「いちかわ健康マイレージ」を運営するなど市民の健康向上に寄与する取り組みが行われている。



台東区にて

### 5 委員長所感

台東区の子ども家庭支援センター事業で特に注目したのは、子育て総合相談事業である。相談の内容は、より複雑さ、深刻さを増しているとのことであった。本市においても同じ傾向であろうし、そうした専門性を発揮する上での中心施設を直営で置くというのは参考にしてよいのではないかと思う。

市川市の健康いちかわ21(第2次)の中で、「個人で取り組む健康づくり」の支援策として位置づけられ、実施されている健康マイレージ事業であるが、参加を持続させることはかなり難しいとのことであった。この取り組みには、実施率向上や持続性が重要であると感じた。